

一般質問

萩原 弘之

(民主クラブ)

山部太陽の里キャンプ場の管理は

問 太陽の里キャンプ場の利用者は近年2900名を推移している。利用規則及びごみ分別の周知を図り、施設整備の経費として有料化をすべきではないか。

答 現在キャンプ場についてはキャンプだけでなく集会やイベントスペースなどの場としても利用がされており、団体においては許可を申請して使用料を頂いている。キャンプ場宿泊者への有料化には、管理者の常設や施設整備など投資が必要であり現在の段階では考えていない。ごみの分別については来年度より指定管理者が一本化することも踏まえて、対策を協議し実施していく。

富良野市の6次産業化の支援は

問 国の6次産業化法にともなう現在、農産加工品に携わっている団体の支援とこれからの

取り組みについて市の考えは。

答 本市の取り組みとして、2つの事業者が6次産業化法に基づく総合事業計画の認定を受け実施している。

また、富良野市農業及び農村基本計画の中で農業経営の発展に6次産業化が位置づけられていると考える。持続可能な農業及び農村づくりに向けて掲げた4つの中の「信頼される産地づくり」の取り組みのことからも、農産加工品やインターネット販売・産地情報の発信など、新分野挑戦への支援をしていく。また、本年より6次産業化支援事業として、農家レストラン・農産加工実践講習会を実施している。



山部太陽の里キャンプ場

日里 雅 至

(民主クラブ)

中心市街地活性化

問 東4条街区再開発事業の進捗状況について。

答 事業区域内の権利者26権利者から事業認可の同意が得られ、まちづくり会社から市に8月6日付けで事業認可申請書の提出があった。8月9日市中心市街地活性化事業本部会議を開催し、市として、8月10日付けで北海道に事業認可申請書を進達提出した。今後のスケジュールについては、事業認可が下り次第、全体地盤調査、実施設計権利変換計画の作成のための平成24年度国庫補助金の交付申請を行い、補助金交付決定後事業に着手する予定。

中心市街地活性化基本計画においては、平成26年3月末が事業期間となっているが、地権者の同意手続きが遅れた影響で、今後の進捗状況によっては延長の可能性も想定される。

問 こども園建設について、地

域懇談会などで出された市民意見をどのように反映させるのか。



新しく生まれ変わる東4条街区

答 建物の構造まで意見を聞くことができないが、これまで出された要望意見として、交通安全、防犯、環境、駐車場、園庭など共通課題については、今後必要性に十分配慮し実施設計に反映させていく。

問 総合こども園法案が廃案となったが、市として再編による新たな施設をどう考えるのか。

答 市としては、総合こども園として整備をする方向であったが国会で法案が廃案になり、今後国の動向を注視し再編による新たな施設については、認可保育所か認定こども園として進めるのか方向付けしていく。